

○みらいKIDS 交流事業

1. 事業の目的

- ・子どもたちが歴史や文化、伝統に触れ、体験学習への参加を通じた世代間交流を行い、草津市中心市街地活性化基本計画の目標である「幅広い世代が交流するまち」の実現や、事業達成のために大学生等と協働し図る。
- ・本市の友好交流都市である福島県伊達市との交流を通し、更なる友好関係を構築し、互いの街の魅力を発信していく。
- ・持続可能な開発目標（SDGs）について考える機会とし、地球を見つめ発信行動する将来のまちづくりに参画する若い世代を育む。

※持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに、発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が取り組むべき17の目標。持続可能な社会をつくるために、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの課題を総合的に解決することを求めている。

2. 事業の概要

- ・友好交流都市である福島県伊達市との交流事業
将来的には、草津市、伊達市の友好交流都市を交えた都市間交流を検討
- ・両市の小学校5、6年生が、お互いの都市を訪れ合い、それぞれの地域の歴史・文化・伝統や人々の暮らしに触れ、お互いの都市の魅力を直に感じ取りながら、仲間との交流やワークショップなどの意見交換の場を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を学ぶ。
- ・草津駅西口商店街と密接に連携した取組み
→西口商店街事業の「クリスマスブーツギャラリー」を通し、伊達市と交流（H26～）

3. 令和2年度企画内容

- ・草津市での交流事業（体験、ホームステイ等）
→新型コロナウイルス感染症防止のため事業延期

4. これまでの実績

- ・裏面参照

5. 今後の展望

- ・SDGsを草津市総合計画の施策へ関連づけ、全庁的に横断的な取り組みを実施
- ・2030年に向けて、みらいキッズ事業から発信
- ・卒業生が将来リーダーとなるようなしくみづくりや育成
- ・参加市町の拡大
- ・みらいキッズ参加者による「子ども会議」の開催

これまでの実績

第1回 2017 みらい KIDS にぎわい交流事業

- ◆日程 7月31日（日）～8月6日（日） 7日間
- ◆場所 伊達市内（7/31～8/2）、草津市内（8/3～8/6）
- ◆参加者 20名 草津市13名 伊達市7名
- ◆宿泊 富成地区交流館（伊達市）、ホームステイ（草津市）
- ◆主な行程 伊達市：流しそうめん体験、桃狩り、霊山登山
草津市：街道交流館、草津川跡地、熱気球体験、沖島湖水浴、子ども新聞の発行

第2回 2018 みらい KIDS にぎわい交流事業

- ◆日程 8月2日（木）～8月5日（日） 4日間
- ◆場所 草津市内等
- ◆参加者 23名 草津市12名 伊達市11名 立命館大学 SDGs WeeK 実行委員会メンバー（5名）
- ◆宿泊 ホームステイ
- ◆主な行程 草津宿本陣見学、熱気球フライト体験、水生植物公園水の森、琵琶湖博物館見学、
沖島湖水浴、SDGs ワークショップ

第3回 2019 みらい KIDS にぎわい交流事業

- ◆日程 8月3日（土）～8月6日（火） 4日間
- ◆場所 伊達市内等
- ◆参加者 28名 草津市14名 伊達市14名 立命館大学 SDGs WeeK 実行委員会メンバー（5名）
- ◆宿泊 りょうぜん虹彩館（コテージ）
- ◆主な行程 桃狩り体験、ミニSL乗車体験、竹生嶋流棒術体験、伝承鎮魂記念館見学、
相馬市松川浦海遊び、霊山登山